

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月28日

上場会社名 大証金(大阪証券金融株式会社)

上場取引所 東大

コード番号 8512 URL <http://www.osf.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 堀田 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画総務部長

(氏名) 西山 剛

TEL 06-6233-4510

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,933	—	276	—	490	—	449	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	12.31	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成21年3月期第3四半期においては連結財務諸表作成会社であり、個別の経営成績(累計)を開示していないため、平成21年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び平成22年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	224,692	15,240	6.8	334.82
21年3月期	368,599	15,154	4.1	332.45

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 15,240百万円 21年3月期 15,154百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,200	△24.1	350	—	600	457.2	550	—	9.30

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 37,000,000株 21年3月期 37,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 440,375株 21年3月期 439,954株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 36,559,815株 21年3月期第3四半期 一株

(注) 平成21年3月期第3四半期においては連結財務諸表作成会社であったため、期中平均株式数(四半期累計期間)の平成21年3月期第3四半期については、記載しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、添付資料5ページ及び本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成21年3月23日付で連結子会社であった株式会社大証金ビルディングを吸収合併したため、平成22年3月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しておりません。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
第一種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0 03	0 03
22年3月期	—	0 00	—	—	—
22年3月期（予想）	—	—	—	14 00	14 00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無 無

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)のわが国経済は、年度初めにかけて世界的な金融危機の影響により大幅な悪化となった後は、在庫調整の進捗などから輸出や生産が持直しに転ずるなど、概ね回復傾向を辿っております。しかしながら、先行きについては、引続き雇用・所得環境が不冴えに推移する中、個人消費への影響も懸念されるなど依然として不透明感が払拭できない状況にあります。

株式市況についてみますと、期初8千3百円台でスタートした日経平均株価は、NYダウの上昇や国内経済の持直しを背景に、6月中旬には8ヵ月ぶりに1万円台を回復するなど堅調に推移し、8月下旬には年初来高値を更新しました。その後、秋口以降は急激な円高進行から水準を切り下げる場面があったものの、年末にかけては円高一服などを背景に再び上昇基調に転じました。

この間、大阪市場における信用取引買残高は、株式市場の動向を映して6月には7ヵ月ぶりに1千億円台を回復したものの、その後はほぼ横ばいに推移、年末にかけてはやや弱含みの展開となりました。

このような情勢下、業務別の営業収益についてみますと、資金運用業務3,108百万円、有価証券貸付業務724百万円、その他業務100百万円となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の営業収益は3,933百万円、営業利益は276百万円となり、これに受取配当金等の営業外損益を加えた経常利益は490百万円となりました。四半期純利益は有形固定資産売却損益を計上したことなどから449百万円となりました。

なお、平成21年3月23日付で連結子会社であった株式会社大証金ビルディングを吸収合併したことに伴い、連結子会社はありません。このため、平成22年3月期第1四半期から連結財務諸表非作成会社となりましたので、前年同四半期との比較・分析については、記載していません。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産額は224,692百万円と前事業年度末に比べて143,907百万円減少しました。主な要因は、投資有価証券が増加したものの、現金及び預金や借入有価証券代り金が減少したことなどによるものです。

一方、負債総額は209,451百万円と前事業年度末に比べて143,993百万円減少しました。主な要因は、コールマネーやコマースナル・ペーパーが増加したものの、短期借入金が増加したことなどによるものです。

また、純資産額は15,240百万円と前事業年度末に比べて86百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて121,158百万円減少し、135百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、120,723百万円の支出超となりました。収入の主な内訳はコールマネー等の純増加額61,300百万円や税引前四半期純利益473百万円であり、支出の主な内訳は短期借入金の純減少額218,530百万円や利息の支払額651百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、301百万円の支出超となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出200百万円や無形固定資産の取得による支出123百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、133百万円の支出超となりました。これは、主に配当金の支払額109百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期通期業績予想を以下のとおり修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,600	30	350	350	3 83
今回発表予想（B）	5,200	350	600	550	9 30
増減額（B－A）	600	320	250	200	－
増減率（％）	13.0	－	71.4	57.1	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	6,851	△486	107	△13,735	△375 07

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135	123,293
有価証券	36,986	45,058
営業貸付金	72,855	74,610
借入有価証券代り金	86,251	111,368
その他	7,797	2,197
貸倒引当金	△2,252	△2,363
流動資産合計	204,773	354,166
固定資産		
有形固定資産	498	606
無形固定資産	1,041	1,229
投資その他の資産		
投資有価証券	18,034	12,062
その他	530	1,699
貸倒引当金	△186	△1,165
投資その他の資産合計	18,378	12,597
固定資産合計	19,918	14,432
資産合計	224,692	368,599
負債の部		
流動負債		
コールマネー	71,300	10,000
短期借入金	74,840	293,370
コマーシャル・ペーパー	24,000	12,000
貸付有価証券代り金	21,475	26,804
未払法人税等	24	36
賞与引当金	30	77
その他	4,812	7,132
流動負債合計	196,482	349,421
固定負債		
長期借入金	12,000	2,700
退職給付引当金	331	375
役員退職慰労引当金	200	239
その他	436	708
固定負債合計	12,968	4,023
負債合計	209,451	353,444

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,229	3,229
利益剰余金	6,343	6,003
自己株式	△131	△131
株主資本合計	14,441	14,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	799	1,053
評価・換算差額等合計	799	1,053
純資産合計	15,240	15,154
負債純資産合計	224,692	368,599

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業収益	3,933
営業費用	1,673
営業総利益	2,260
一般管理費	1,983
営業利益	276
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	155
受取賃貸料	53
その他	10
営業外収益合計	225
営業外費用	
支払利息	12
その他	0
営業外費用合計	12
経常利益	490
特別利益	
有形固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
有形固定資産売却損	11
ソフトウェア除却損	7
投資有価証券売却損	2
特別損失合計	22
税引前四半期純利益	473
法人税、住民税及び事業税	5
法人税等調整額	18
法人税等合計	23
四半期純利益	449

(第3四半期会計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
営業収益	1,337
営業費用	414
営業総利益	923
一般管理費	845
営業利益	77
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	62
受取賃貸料	17
その他	1
営業外収益合計	82
営業外費用	
支払利息	4
その他	0
営業外費用合計	4
経常利益	156
税引前四半期純利益	156
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等合計	1
四半期純利益	155

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	473
減価償却費	390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,090
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△44
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39
受取利息及び受取配当金	△3,270
支払利息	626
投資有価証券売却損益 (△は益)	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	5
無形固定資産除却損	7
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,000
有価証券及び投資有価証券の純増減額(△は増加)	△3,898
営業貸付金の増減額 (△は増加)	1,941
借入有価証券代り金の増減額 (△は増加)	25,116
コールマネー等の純増減 (△)	61,300
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△218,530
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	12,000
貸付有価証券代り金の増減額 (△は減少)	△5,329
貸借取引担保金の増減額 (△は減少)	△1,638
信用サポートローン担保金の増減額(△は減少)	△610
長期借入金の増減額(△は減少)	9,300
その他	866
小計	△123,465
利息及び配当金の受取額	3,251
利息の支払額	△651
法人税等の還付額	141
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△200
投資有価証券の売却による収入	6
有形固定資産の取得による支出	△8
有形固定資産の売却による収入	18
無形固定資産の取得による支出	△123
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△23
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△121,158
現金及び現金同等物の期首残高	121,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	135

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、定時株主総会の決議に基づき平成21年6月25日付で、別途積立金を13,264百万円取崩し、同額を繰越利益剰余金に振り替えております。

6. その他の情報

該当事項はありません。